

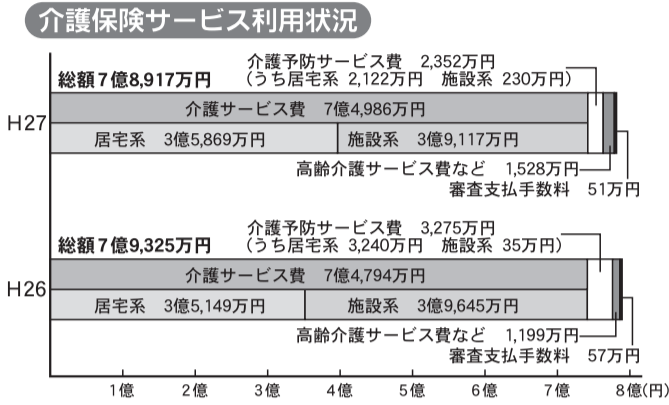
また、地域支援事業において、地域包括支援センターを運営し、総合相談に対応するほか、介護予防のための事業を行うなど、高齢者の方が末長く住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるように支援しています。

■**介護保険事業特別会計**  
介護保険制度は、要介護認定・要支援認定を受けた方が利用したサービスの費用を国・県・町や被保険者の保険料で、それぞれ法律で定められた割合に応じて負担する仕組みとなっています。平成27年度の介護給付費の総額は、前年度比0.5%減の7億8917万円となりました。

■**公共下水道事業特別会計**  
公共下水道事業は、水源保全と生活環境の向上のため、昭和49年に都市計画決定され、昭和55年に下水道法の事業認可を受けてスタートしました。

■**用地取得特別会計**  
用地取得特別会計は、公共用地又は公用地若しくはその代替地の先行取得事業の円滑な運営とその経理の適性を図るための会計です。

■**後期高齢者医療特別会計**  
後期高齢者医療制度は、75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障がいがあると認定された方が対象です。保険料額の決定や医療の給付などは神奈川県後期高齢者医療広域連合で行っていますが、申請や相談などの事務や保険料の収納は町が行っています。



医療費は年々増えており、人口の高齢化に伴い財源の一部となる現役世代の負担も増えています。日頃からの健康づくりに心掛け、医療費の節減に努めることが、健全な財政運営につながります。

○平成27年度における指標

指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
指標の説明	一般会計等の赤字を財政規模で除算したものです。赤字ではないため該当しません	全会計合算の赤字を財政規模で除算したものです。赤字ではないため該当しません	一般会計等が負担する町債の元利償還金を財政規模で除算したものです	町が将来負担すべき町債残高の債務を財政規模で除算したものです	公営企業会計の資金不足を除外したものです
平成27年度	-	-	6.2	68.6	-
平成26年度	-	-	6.8	67.0	-
早期健全化／財政再生基準	15.00%／20.00%	20.00%／30.00%	25.0%／35.0%	350.0%／-	20.00%／-

○指標算定における対象

一般会計等	一般会計	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
公営事業会計	用地取得特別会計 国民健康保険事業特別会計 国民健康保険診療所事業特別会計 介護保険事業特別会計 後期高齢者医療特別会計				
公営企業会計	上水道事業会計 寄簡易水道事業特別会計 下水道事業特別会計	資金不足比率(会計ごと)			
一部事務組合	足柄上衛生組合、足柄東部清掃組合など				
第三セクター	(有) みやまの里				

平成28年度 松田町一般会計補正予算の主な内容

一般会計補正予算第4号 平成28年9月9日「議決既定の歳入歳出予算に72,634千円を追加」

【歳入】(主なもの)

町税	△20,800千円
地方交付税	72,917千円
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金(国費)	2,100千円
木の学校づくり先導事業委託金(国費)	2,716千円
市町村自治基盤強化総合補助金(県費)	7,414千円
市町村減災推進事業費補助金(県費)	6,837千円
前年度繰越金	17,487千円
臨時財政対策債	△17,260千円

【歳出】(主なもの)

財政調整基金積立金	20,000千円
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	2,100千円
生活排水対策事業	1,252千円
木の学校づくり先導事業	2,716千円
予備費	44,615千円

平成28年度一般会計予算総括表 (単位:千円)		
補正前の予算額	補正額合計	補正(第4号)後の予算額
4,297,287	72,634	4,369,921

財政健全化法における指標と松田町の町債

財政健全化法について

財政健全化法とは、自治体の財政状況を指標で明らかにし、財政の健全化や再生が必要な場合に迅速な対応を取ることで、自治体の破たんを早期に是正するための法律です。毎年度、自治体の決算などを基に算定した指標を公表し、指標が早期健全化基準(公営企業会計は経営健全化基準)、またはそれよりも悪化した場合は財政再生基準を超える場合には、それぞれ計画を策定し財政健全化(経営健全化)または財政再生に取り組みなければなりません。

平成27年度の町の指標は、全て基準を下回りました。実質公債費比率は元利償還金が減少したことなどにより前年度比0.6ポイント減となり、将来負担比率は財政調整基金を取り崩したことから、用地取得特別会計で用地取得に係る起債の借入を行ったことなどにより前年度比1.6ポイント増となりました。

松田町の町債について

公共施設の整備など、投資的事業は多くの資金を必要とし、また、これら事業の効果は長期間にわたり町民の皆さんが受けることとなります。このようなことから、その年の歳入だけで賄うのが難しい大規模な投資的事業などに対して、国や金融機関などから借り入れるのが町債です。

平成27年度の一般会計では、橋りょう長寿命化事業に対して1130万円、道路新設改良整備事業に対して1000万円、松田中学校のトイレ改修工事に対して2100万円の借入れを行いました。町債の総額では、前年度から3019万円の減となりました。

なお、これらのほかに、地方交付税の一部を補てんするための臨時財政対策債を2億3310万円借入れしました。

